

DOCUMENT MANAGEMENT METHOD, AND STORAGE MEDIUM STORING THE DOCUMENT MANAGEMENT METHOD

Publication number: JP2001034515

Publication date: 2001-02-09

Inventor: HIRATA MIHOKO

Applicant: RICOH KK

Classification:

- international: G06F12/00; G06F17/21; G06F17/30; G06F12/00; G06F17/21; G06F17/30; (IPC1-7): G06F12/00; G06F17/21; G06F17/30

- european:

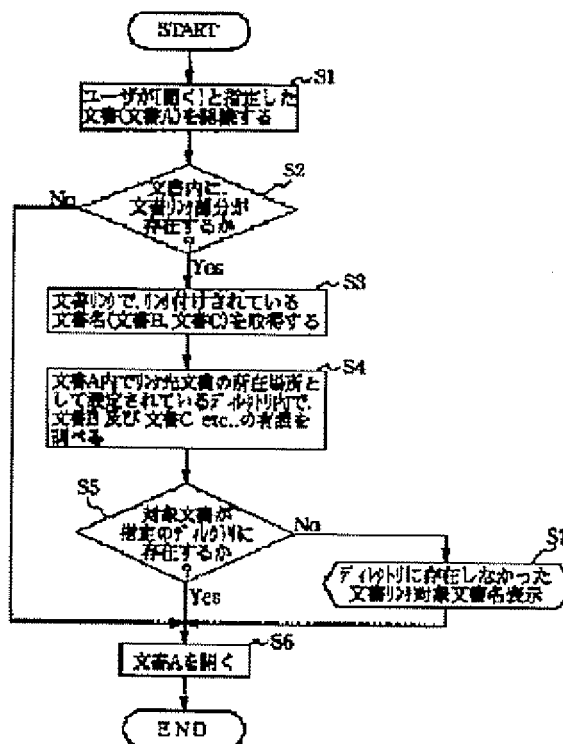
Application number: JP19990208225 19990722

Priority number(s): JP19990208225 19990722

Report a data error here

Abstract of JP2001034515

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the occurrence of an operation that tries to take a relative document out of its location although this location is not included in an opened document by displaying the name and location of the related document on an information processor which tries to take out the document when the relative document is not included in its location. **SOLUTION:** When a document take-out instruction is received, a system control part 1 acquires the location information on a relevant document and the document name (S1). When the acquired location information is associated with the relative documents by the association information read out of the document name (S2), the document names included in the locations of relevant documents are retrieved and it is checked whether the linked documents are included in the retrieved document names (S4). When an object document is included in the locations of relevant documents (S5), a document that is taken out then is opened (S6). When the object document is not included in the locations of relevant documents, a message showing this fact is displayed and also the location information on the object document is paired with the document name and displayed (S7).



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-34515

(P2001-34515A)

(43)公開日 平成13年2月9日(2001.2.9)

(51)Int. Cl. ⁷	識別記号	FI	テーム(参考)
G06F	12/00	520	P 5B009
	17/21	570	R 5B075
	17/30	570	D 5B082
		15/401	340 A

審査請求 未請求 請求項の数7

OL

(全9頁)

(21)出願番号 特願平11-208225

(22)出願日 平成11年7月22日(1999.7.22)

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 平田 美保子

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

Fターム(参考) 5B009 RB23 SA03 SA06 SA12 SA14
TB04

5B075 ND03 ND36 NK02 NK44 PP03

PP13 PP22 PQ02 PQ33 PQ69

UU05

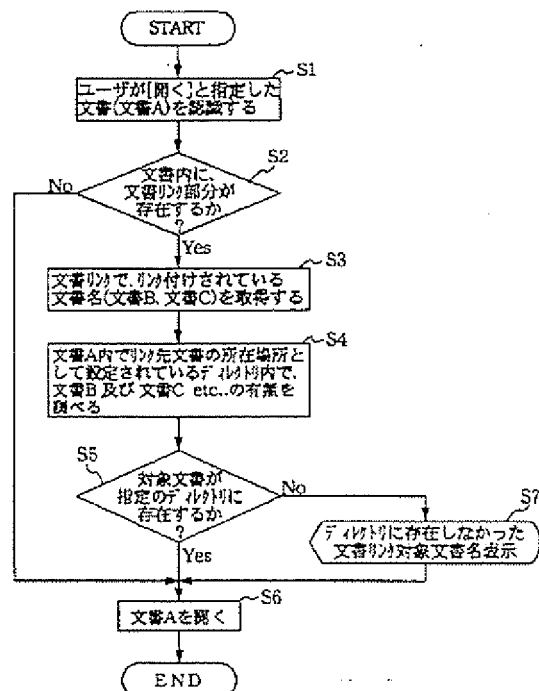
5B082 EA01

(54)【発明の名称】 文書管理方法およびその文書管理方法を記憶した記憶媒体

(57)【要約】

【課題】 開いている文書に関連付けられている関連文書が関連付け情報で示された所在場所がないのに、その関連文書を前記所在場所から取り出そうとする動作が発生してしまうのを防ぐことができる文書管理方法などを提供する。

【解決手段】 文書に付加された、前記文書の関連文書を取り出すための関連付け情報を有する文書管理方法において、取り出そうとする文書が指示され、文書取り出しが指示されたことを認識すると、前記文書に関連文書が関連付けられているか否かを判定し、関連付けられていたならば、関連付け情報により示されたディレクトリに前記関連文書があるか否かを調べて、前記関連文書がディレクトリにあるか否かを判定し、なかったならば、前記関連文書の文書名と前記ディレクトリの名称を、前記文書を取り出そうとしている情報処理装置に表示する構成にした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 文書の関連文書を取り出すために前記文書に付加された関連付け情報を有する文書管理方法において、取り出そうとする文書が指示されたとき、前記文書に関連文書が関連付けられているか否かを判定し、関連付けられていたならば、関連付け情報により示された所在場所に前記関連文書があるか否かを判定し、関連付けられていなかったならば、前記関連文書の文書名と前記所在場所を、前記文書を取り出そうとしている情報処理装置に表示することを特徴とする文書管理方法。

【請求項2】 請求項1記載の文書管理方法において、関連付け情報として、関連文書の所在場所を示す情報としてディレクトリ情報を有する構成にして、前記ディレクトリ情報で示されたディレクトリのファイルリストを検索することにより所在場所に前記関連文書があるか否かを判定し、前記関連文書が所在場所になかった場合、所在場所としてはディレクトリ情報を表示することを特徴とする文書管理方法。

【請求項3】 請求項1または請求項2記載の文書管理方法において、所在場所に関連文書がなかったとき、他の場所に前記関連文書があるか否かを調べ、あった場合には、前記所在場所に前記関連文書をコピーすることを特徴とする文書管理方法。

【請求項4】 請求項3記載の文書管理方法において、前記所在場所に前記関連文書をコピーするに際して、コピーするか否かを指示させるためのメッセージを表示し、コピーする旨が指示されたときのみコピーすることを特徴とする文書管理方法。

【請求項5】 請求項1または請求項2記載の文書管理方法において、所在場所に関連文書がなかったとき、他の場所に前記関連文書があるか否かを調べ、あった場合には、関連付け情報中に書き込まれている前記関連文書の所在場所を前記他の場所に変更することを特徴とする文書管理方法。

【請求項6】 請求項5記載の文書管理方法において、前記関連文書の所在場所変更の際に、所在場所を変更するか否かを指示させるためのメッセージを表示し、変更する旨が指示されたときのみ所在場所を変更することを特徴とする文書管理方法。

【請求項7】 プログラムを記憶した記憶媒体において、請求項1乃至請求項6記載の文書管理方法をプログラミングしたプログラムを記憶したことを特徴とする記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、パーソナルコンピュータや専用の文書管理装置など情報処理装置、およびLANシステムなどにおける文書管理方法に係わり、特に、保管・管理されている文書に関連付けられている関連文書が関連付け情報で示された所在場所になかった場

合に無駄な動作を行わないで済む文書管理方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 文書管理システムは、文書を登録する機能、登録された多数の文書を保管・管理する機能、保管・管理されている多数の文書の中から所望の文書を取り出す機能などを備えている。また、近年では、一つの文書に関連する関連文書（参照文書）の関連付け情報を文書中の関連箇所に関連付けて登録しておき、文書参照時には、マウスなどを用いて前記関連箇所を指示（クリック）することにより、指示された関連箇所に関連付けられている関連文書をその所在場所から読み出し（取り出し）、表示させたりすることができる文書管理システムなども提供されている。例えば、関連箇所を示す関連箇所情報に対応付けて、図8に示すように、関連文書の所在場所情報や文書名などをその文書の属性情報として管理しておくのである。なお、図8において、所在場所情報はディレクトリ情報として示されている。また、ディレクトリ情報は例えば階層構造のフォルダ名を連結した情報で示され、例えば図8の1番目のレコードの関連文書については、「製品開発」というフォルダ（1種の記憶領域）中の「プリンタ」というフォルダ中の「予算」というフォルダが所在場所であることを示している。このような関連文書をこの関連文書の登録者とは限らない多数の人が関連文書として関連付けたりするのであるが、例えば、登録者が何らかの理由により前記関連文書（関連文書としてでなく、文書管理システムで保管・管理される一つの文書として登録されている）をフォルダから削除したり、他のフォルダに移したりすることがある。このような場合、関連付け情報に従って前記関連文書を元の所在場所から取り出そうとすると、そこに関連文書がなくて取り出せないというような問題が発生する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来技術においては、関連文書が一つのフォルダから削除されたりすると、その関連文書が取り出せず、取り出そうとした操作が無駄になってしまうという問題に対して解決策を提供していない。本発明の課題は、このような従来技術の問題を解決し、開いている文書に関連付けられている関連文書が関連付け情報で示された所在場所になのに、その関連文書を前記所在場所から取り出そうとする動作が発生してしまうのを防ぐことができる文書管理方法を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 前記の課題を解決するために、請求項1記載の発明では、文書の関連文書を取り出すために前記文書に付加された関連付け情報を有する文書管理方法において、取り出そうとする文書が指示されたとき、前記文書に関連文書が関連付けられているか

否かを判定し、関連付けられていたならば、関連付け情報により示された所在場所に前記関連文書があるか否かを判定し、所在場所に前記関連文書がなかったならば、前記関連文書の文書名と前記所在場所を、前記文書を取り出そうとしている情報処理装置に表示する方法にした。また、請求項2記載の発明では、請求項1記載の発明において、関連付け情報として、関連文書の所在場所を示す情報としてのディレクトリ情報を有する構成にして、前記ディレクトリ情報で示されたディレクトリのファイルリストを検索することにより所在場所に前記関連文書があるか否かを判定し、所在場所に前記関連文書がなかった場合、所在場所としてはディレクトリ情報を表示する方法にした。また、請求項3記載の発明では、請求項1または請求項2記載の発明において、所在場所に関連文書がなかったとき、他の場所に前記関連文書があるか否かを調べ、他の場所に前記関連文書があった場合には、前記所在場所に前記関連文書をコピーする方法にした。

【0005】また、請求項4記載の発明では、請求項3記載の発明において、前記所在場所に前記関連文書をコピーするに際して、コピーするか否かを指示させるためのメッセージを表示し、コピーする旨が指示されたときのみコピーする方法にした。また、請求項5記載の発明では、請求項1または請求項2記載の発明において、所在場所に関連文書がなかったとき、他の場所に前記関連文書があるか否かを調べ、他の場所に前記関連文書があった場合には、関連付け情報中に書き込まれている前記関連文書の所在場所を前記他の場所に変更する方法にした。また、請求項6記載の発明では、請求項5記載の発明において、所在場所変更の際に、所在場所を変更するか否かを指示させるためのメッセージを表示し、変更する旨が指示されたときのみ所在場所を変更する方法にした。また、請求項7記載の発明では、プログラムを記憶した記憶媒体において、請求項1乃至請求項6記載の文書管理方法をプログラミングしたプログラムを記憶する構成にした。

【0006】前記のような手段にしたので、請求項1記載の発明では、取り出そうとする文書が指示されたとき、前記文書に関連文書が関連付けられているか否かが判定され、関連付けられていたならば、関連付け情報により示された所在場所に前記関連文書があるか否かが判定され、所在場所に前記関連文書がなかったならば、前記関連文書の文書名と前記所在場所が、前記文書を取り出そうとしている情報処理装置に表示される。請求項2記載の発明では、請求項1記載の発明において、所在場所情報であるディレクトリ情報で示されたディレクトリのファイルリストが検索され、それにより所在場所に関連文書があるか否かが判定され、所在場所に関連文書がなかった場合、所在場所としてはディレクトリ情報が表示される。請求項3記載の発明では、請求項1または請

求項2記載の発明において、所在場所に関連文書がなかったとき、他の場所に前記関連文書があるか否かが調べられ、他の場所に前記関連文書があった場合には、前記所在場所に前記関連文書がコピーされる。

【0007】請求項4記載の発明では、請求項3記載の発明において、前記所在場所に前記関連文書をコピーするに際して、コピーするか否かを指示させるためのメッセージが表示され、コピーする旨が指示されたときのみコピーされる。請求項5記載の発明では、請求項1または請求項2記載の発明において、所在場所に関連文書がなかったとき、他の場所に前記関連文書があるか否かが調べられ、他の場所に前記関連文書があった場合には、関連付け情報中に書き込まれている前記関連文書の所在場所が前記他の場所に変更される。請求項6記載の発明では、請求項5記載の発明において、前記関連文書の所在場所変更の際に、所在場所を変更するか否かを指示させるためのメッセージが表示され、変更する旨が指示されたときのみ所在場所が変更される。請求項7記載の発明では、請求項1乃至請求項6記載の文書管理方法をプログラミングしたプログラムを記憶した記憶媒体を情報処理装置に装填することにより、その情報処理装置において請求項1乃至請求項6記載の発明の作用を実現することができる。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、図面により本発明の実施の形態を詳細に説明する。図1は本発明の各実施形態の文書管理システムの構成ブロック図である。図示したように、この実施形態の文書管理システムは、プログラムを記憶したメモリおよびそのプログラムに従って動作するCPUを有して文書管理システム全体を制御・管理するシステム制御部1、各種データを一時的に記憶しておくRAM2、文書データなどを保管（記憶）しておく文書記憶装置（例えばハードディスク装置）3、キーボードやマウスなどを有する操作部4、メッセージや文書などを表示する表示装置5、文書などを紙上に出力するプロッタ6、ネットワークを介した通信を制御する通信制御部7などを備えている。なお、文書記憶装置3はフォルダなどと呼ばれている文書格納場所（文書記憶領域）を複数有している。そして、このような文書管理システムにより、保管・管理しようとする文書を登録する際には、この文書管理システムのハードウェア資源などを用いて作成された文書データや通信制御部7を介して取り込んだ文書データを文書記憶装置3内の一つのフォルダに格納すると共に、その文書の属性情報（例えば文書名）を入力させ、その属性情報をその文書データと関連付けて記憶させる。また、保管・管理されている文書を参照する際には、階層構造になっているフォルダをその上位層から順次指定してフォルダを選択し、そのなかから取り出そうとする文書を探し、探し出した文書をマウスなどを用いて指示して取り出す。あるいは、文書名を

入力して取り出したり、登録者名や登録日の範囲を指定したりして該当する文書をリストアップさせ、その中から選択して所望の文書を取り出す。また、一つの文書に関連する関連文書（参照文書）の関連付け情報を文書中の関連箇所に関連付けて登録しておき、関連文書参照時には、マウスなどを用いて前記関連箇所を指示（クリック）することにより、指示された関連箇所に関連付けられている関連文書をその所在場所から読み出し（取り出し）、表示させたりすることができる。例えば、関連箇所を示す関連箇所情報に対応付けて、図8に示すように、関連文書の所在場所情報や文書名などをその文書の属性情報として管理しておくのである（「従来の技術」参照）。

【0009】図2に、本発明の第1の実施形態の動作フローを示す。以下、図2などに従って、この実施形態の動作を説明する。まず、前記のようにして、利用者が、表示装置5などを用いて、例えば一つのフォルダ内にある文書のリストを表示させ、利用者がその中の一つの文書を指示し、表示装置5に表示されている例えば「開く」というボタンをマウスなどで指示（クリック）すると、システム制御部1は文書取り出しが指示されたことを認識すると共に取り出すべき文書の例えばディレクトリ情報（所在場所情報）と文書名（例えば、文書A）を取得する（ステップS1）。そして、そのディレクトリ情報と文書名（ファイル名）とをファイル管理手段に渡し、その文書の文書データおよび関連付け情報を読み出す。続いて、システム制御部1は読み出した関連付け情報により当該文書に関連文書が関連付けられているか否か（文書リンクがあるか否か）を判定する（ステップS2）。そして、関連文書が関連付けられていると判定されたならば（ステップS2でYES）、前記関連付け情報の中から関連文書のディレクトリ情報（所在場所情報）と文書名（例えば、文書B、文書C）とを取得する（ステップS3）。

【0010】さらに、システム制御部1は、関連文書の前記ディレクトリ情報で示されたディレクトリ内の文書名（ファイル名）を検索し、その中に前記文書名の文書（文書Bや文書C）があるか否かを調べる（ステップS4）。そして、対象文書（対象の関連文書）がディレクトリ内にあれば（ステップS5でYES）、関連文書が取り出せないというような問題は起こらないので、その時点で取り出していた文書（文書A）を開く（表示させる）（ステップS6）。それに対して、対象文書がディレクトリ内になければ（ステップS5でNO）、その旨を示すメッセージを表示させると共に、その文書のディレクトリ情報（所在場所情報）と文書名を対にして表示させる（図3参照）（ステップS7）。さらに、それに続いて、開こうとしている文書（文書A）を表示させる（ステップS6）。また、ステップS2において、開こうとしている文書（文書A）に関連文書が関係付けられ

ていないと判定された場合は（ステップS2でNO）、直ちにその文書（文書A）を開く（ステップS6）。なお、関連文書があるべきディレクトリにない場合、利用者は文書検索手段を用いて前記関連文書を検索し、他のフォルダ内にその関連文書を見つけたならば、表示されたディレクトリ情報に従ってその文書のコピーをあるべきディレクトリのフォルダに格納することができる。こうして、この実施形態によれば、開こうとしている文書に関連付けられている関連文書が関連付け情報で示された所在場所になく、そのことが事前にわかるので、その関連文書を前記所在場所から取り出そうとする無駄な動作を行わないで済む。なお、この実施形態において、関連文書の所在場所を示す情報としてはディレクトリ情報に限定されるものではない。

【0011】図4は、本発明の第2の実施形態を示す動作フロー図である。以下、図4などに従って、この実施形態の動作を説明する。まず、利用者が、表示装置5などを用いて、例えば一つのフォルダ内にある文書のリストを表示させ、その中の一つの文書を指示し、表示装置5に表示されている例えば「開く」というボタンをマウスなどで指示（クリック）すると、システム制御部1は文書取り出しが指示されたことを認識すると共に取り出すべき文書の例えばディレクトリ情報（所在場所情報）と文書名（例えば、文書A）を取得する（ステップS11）。そして、そのディレクトリ情報と文書名（ファイル名）とをファイル管理手段に渡し、その文書の文書データおよび関連付け情報を読み出す。続いて、システム制御部1は読み出した関連付け情報により当該文書に関連文書が関連付けられているか否か（文書リンクがあるか否か）を判定する（ステップS12）。そして、関連文書が関連付けられていると判定されたならば（ステップS12でYES）、前記関連付け情報の中から関連文書のディレクトリ情報（所在場所情報）と文書名（例えば文書B、文書C）とを取得する（ステップS13）。さらに、システム制御部1は、関連文書の前記ディレクトリ情報で示されたディレクトリ内の文書名（ファイル名）を検索し、その中に前記文書名の文書（文書Bや文書C）があるか否かを調べる（ステップS14）。そして、対象文書がディレクトリ内にあれば（ステップS15でYES）、関連文書を取り出せないというような問題は生じないので、その時点で取り出していた文書（文書A）を開く（表示させる）（ステップS16）。それに対して、対象文書（関連文書）がディレクトリ内になければ（ステップS15でNO）、他のディレクトリ（所在場所）に前記対象文書があるか否かを調べ、あった場合には、指定されたディレクトリに関連文書がないことを示すメッセージを表示させると共に、他のディレクトリにある前記関連文書を指定された前記ディレクトリにコピー（コピー処理）するか否かを問うメッセージを表示させる（図5参照）（ステップS17）。そして、コピーする旨が、表示

されたボタンをクリックすることにより指示されると（ステップS18でYES）、システム制御部1は他のディレクトリにある前記関連文書を関連付け情報で示されたディレクトリにコピーする（ステップS19）。さらに、それに続いて、開こうとしている文書（文書A）を表示させる（ステップS16）。

【0012】それに対して、ステップS18において、コピーしない旨が指示されたならば（ステップS18でN0）、コピーせずに開こうとしている文書（文書A）を表示させる（ステップS16）。また、ステップS15において、対象文書（関連文書）が指定のディレクトリにあると判定されたならば（ステップS15でYES）、その時点で開こうとしている文書（文書A）を表示させる（ステップS16）。また、ステップS12において、開こうとしている文書（文書A）に関連文書が関係付けられていないと判定された場合は（ステップS12でN0）、直ちにその文書を開く（ステップS16）。こうして、この実施形態によれば、開こうとしている文書に関連付けられている関連文書が関連付け情報で示された所在場所がない場合、そのことが事前にわかるだけでなく、他の場所に前記関連文書があり、利用者がそれをコピーすることを望むならば、その関連文書を前記所在場所にコピーすることもできる。なお、この実施形態において、関連文書を前記所在場所にコピーする際に、利用者の意向を問うことなく無条件にコピーするようにしてもよい。この場合、利用者は、あたかも関連文書があるべき所在場所にずっとあったかのように関連文書を取り出すことができる。それに対して、利用者の意向を問うようにした構成では、利用者が例えば関連文書の内容が最新の状況に適合しなくなったと考えたような場合、コピーをせず、且つ、その関連文書を関連付け情報から外すようなこともできる。

【0013】図6は、本発明の第3の実施形態を示す動作フロー図である。以下、図6などに従って、この実施形態の動作を説明する。まず、利用者が、表示装置5などを用いて例えば一つのフォルダ内にある文書のリストを表示させ、その中の一つの文書を指示し、表示装置5に表示されている例えば「開く」というボタンをマウスなどで指示（クリック）すると、システム制御部1は文書取り出しが指示されたことを認識すると共に取り出すべき文書の例えばディレクトリ情報（所在場所情報）と文書名（例えば文書A）を取得する（ステップS21）。そして、そのディレクトリ情報と文書名（ファイル名）とをファイル管理手段に渡し、その文書の文書データおよび関連付け情報を読み出す。続いて、システム制御部1は読み出した関連付け情報により当該文書に関連文書が関連付けられているか否か（文書リンクがあるか否か）を判定する（ステップS22）。そして、関連文書が関連付けられていると判定されたならば（ステップS22でYES）、前記関連付け情報の中から関連文書のディレク

トリ情報（所在場所情報）と文書名（例えば文書B、文書C）とを取得する（ステップS23）。さらに、システム制御部1は、文書記憶装置（例えばハードディスク装置）3の各ディレクトリ内の文書名（ファイル名）を検索し、いずれかのディレクトリ中に前記文書名の文書（文書Bや文書C）があるか否かを調べる（ステップS24）。

そして、対象文書が文書記憶装置3内のいずれかのディレクトリにあれば（ステップS25でYES）、その所在場所が関連付け情報で示されたディレクトリか否かを判定し（ステップS28）、そのディレクトリであれば（ステップS28でYES）、その時点で取り出していた文書（文書A）を開く（表示させる）（ステップS27）。

【0014】それに対して、対象文書（関連文書）がそのディレクトリ内になければ（ステップS28でN0）、その関連文書名と共に、指定されたディレクトリに関連文書がないことを示すメッセージを表示させ、さらに、前記関連文書に関連付ける旨を表示させる（図7参照）（ステップS29）。

そして、関連付け情報中の前記関連文書のディレクトリ情報を前記関連文書があったディレクトリに変更する（ステップS30）。あるいは、メッセージや関連文書の表示を行うことなく、単にディレクトリの変更だけを行う。さらに、それに続いて、開こうとしている文書（文書A）を表示させる（ステップS30）。

また、ステップS22において、開こうとしている文書（文書A）に関連文書が関係付けられていないと判定された場合は（ステップS22でN0）、直ちにその文書を開く（ステップS27）。こうして、この実施形態によれば、開こうとしている文書に関連付けられている関連文書が関連付け情報で示された所在場所がない場合、他の場所に前記関連文書があるならば、他の場所のその関連文書を関連付け、その関連文書を取り出すことができる。なお、この実施形態において、他の場所にある関連文書を無条件に関連付けるのではなく、コピーの場合と同様に、利用者の意向に応じて関連付けるようにすることもできる。このように、利用者の意向を問うようにした構成では、利用者が例えば関連文書の内容が最新の状況に適合しなくなったと考えたような場合、その関連文書を関連付け情報から外すようなことができる。また、前記実施形態では、文書記憶装置内に関連文書があるか否かを判定し、あったならば、そのあった場所が関連付け情報で示された所在場所か否かを判定したが、これは、関連付け情報で示された関連文書の所在場所か否かを判定し、なかったならば、文書記憶装置内のどこかに関連文書があるか否かを判定するようにすることと結果的に同じになる。

【0015】以上、パーソナルコンピュータや専用の文書管理装置など情報処理装置上に構築された文書管理システムについて説明したが、LANシステムによった文書管理システムにも同様に本発明を実施することができる。なお、LANシステムの場合には、文書記憶装置は

10

20

30

40

50

サーバ内に備えられ、文書を登録したり取り出したりするユーザインタフェースはクライアント端末装置（例えばパーソナルコンピュータ）内に備えられる。また、本発明の文書管理方法をプログラミングしたプログラムを記憶媒体に記憶させることにより、その記憶媒体をそれまで本発明の文書管理方法を有していなかった情報処理装置に装填して、その情報処理装置において本発明の文書管理方法を実行することも可能である。

【0016】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、請求項1記載の発明では、取り出そうとする文書が指示されたとき、前記文書に関連文書が関連付けられているか否かが判定され、関連付けられていたならば、関連付け情報により示された所在場所に前記関連文書があるか否かが判定され、なかったならば、前記関連文書の文書名と前記所在場所が、前記文書を取り出そうとしている情報処理装置に表示されるので、開いている文書に関連付けられている関連文書が関連付け情報で示された所在場所がないのに、その関連文書を前記所在場所から取り出そうとする動作が発生してしまうのを防ぐことができる。また、請求項2記載の発明では、請求項1記載の発明において、所在場所情報であるディレクトリ情報で示されたディレクトリのファイルリストが検索され、それにより所在場所に関連文書があるか否かが判定され、なかった場合、所在場所としてはディレクトリ情報が表示されるので、同様に、開いている文書に関連付けられている関連文書が関連付け情報で示された所在場所がないのに、その関連文書を前記所在場所から取り出そうとする動作が発生してしまうのを防ぐことができる。また、請求項3記載の発明では、請求項1または請求項2記載の発明において、所在場所に関連文書がなかったとき、他の場所に前記関連文書があるか否かが調べられ、あった場合には、前記所在場所に前記関連文書がコピーされるので、利用者はこれまで通りその関連文書を取り出すことができる。

【0017】また、請求項4記載の発明では、請求項3記載の発明において、コピーに際して、コピーするか否かを指示させるためのメッセージが表示され、コピーする旨が指示されたときのみコピーされるので、コピーすることもできるし、利用者が例えば関連文書の内容が最新の状況に適合しなくなったと考えたような場合、コピーをせず、さらに、その関連文書を関連付け情報から外すようなことも可能になる。また、請求項5記載の発

明では、請求項1または請求項2記載の発明において、所在場所に関連文書がなかったとき、他の場所に前記関連文書があるか否かが調べられ、あった場合には、関連付け情報中に書き込まれている前記関連文書の所在場所が前記他の場所に変更されるので、請求項4記載の発明と同様に、利用者はこれまで通りその関連文書を取り出すことができる。また、請求項6記載の発明では、請求項5記載の発明において、所在場所変更の際して、所在場所を変更するか否かを指示させるためのメッセージが表示され、変更する旨が指示されたときのみ所在場所が変更されるので、関連文書を取り出せるように関連付けることもできるし、利用者が例えば関連文書の内容が最新の状況に適合しなくなったと考えたような場合、その関連文書を関連付け情報から外すようなことも可能になる。また、請求項7記載の発明では、請求項1乃至請求項6記載の文書管理方法をプログラミングしたプログラムを記憶した記憶媒体を情報処理装置に装填することにより、その情報処理装置において請求項1乃至請求項6記載の発明の作用を実現することができるので、その情報処理装置において請求項1乃至請求項6記載の発明の効果を実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の各実施形態の文書管理システムの構成ブロック図である。

【図2】本発明の第1の実施形態を示す文書管理方法の動作フロー図である。

【図3】本発明の第1の実施形態を示す文書管理方法の画面図である。

【図4】本発明の第2の実施形態を示す文書管理方法の動作フロー図である。

【図5】本発明の第2の実施形態を示す文書管理方法の画面図である。

【図6】本発明の第3の実施形態を示す文書管理方法の動作フロー図である。

【図7】本発明の第3の実施形態を示す文書管理方法の画面図である。

【図8】従来技術の一例を示すデータ構成図である。

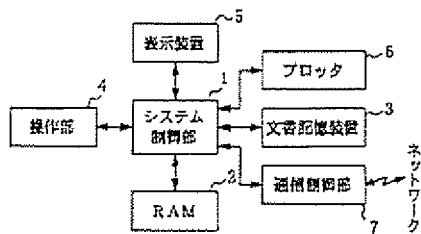
【符号の説明】

- 1 システム制御部
- 3 文書記憶装置
- 4 操作部
- 5 表示装置

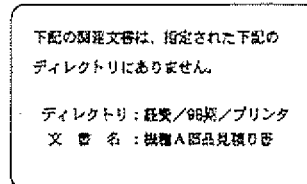
【図8】

(関連場所)	(所在場所)	(文書名)
a	製品開発/プリンタ/予算	部品見積り書
b	製品開発/複写機/議事録	第3回定例会議議事録

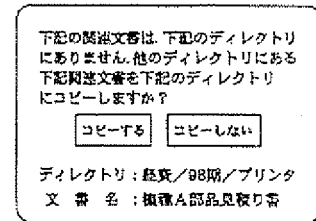
【図1】



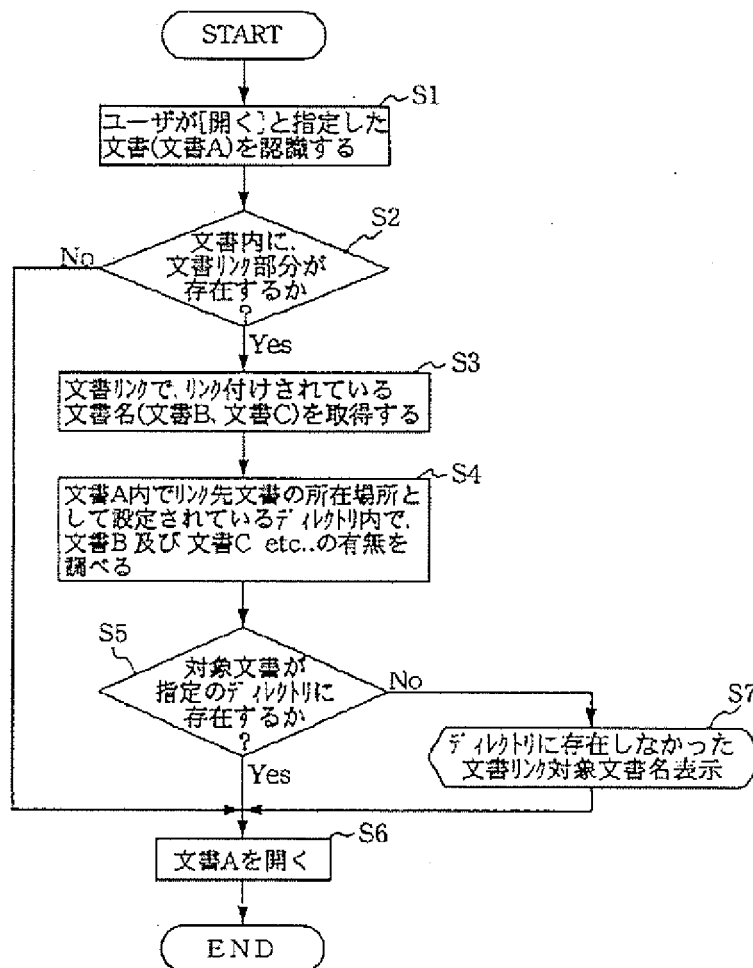
【図3】



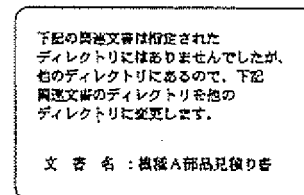
【図5】



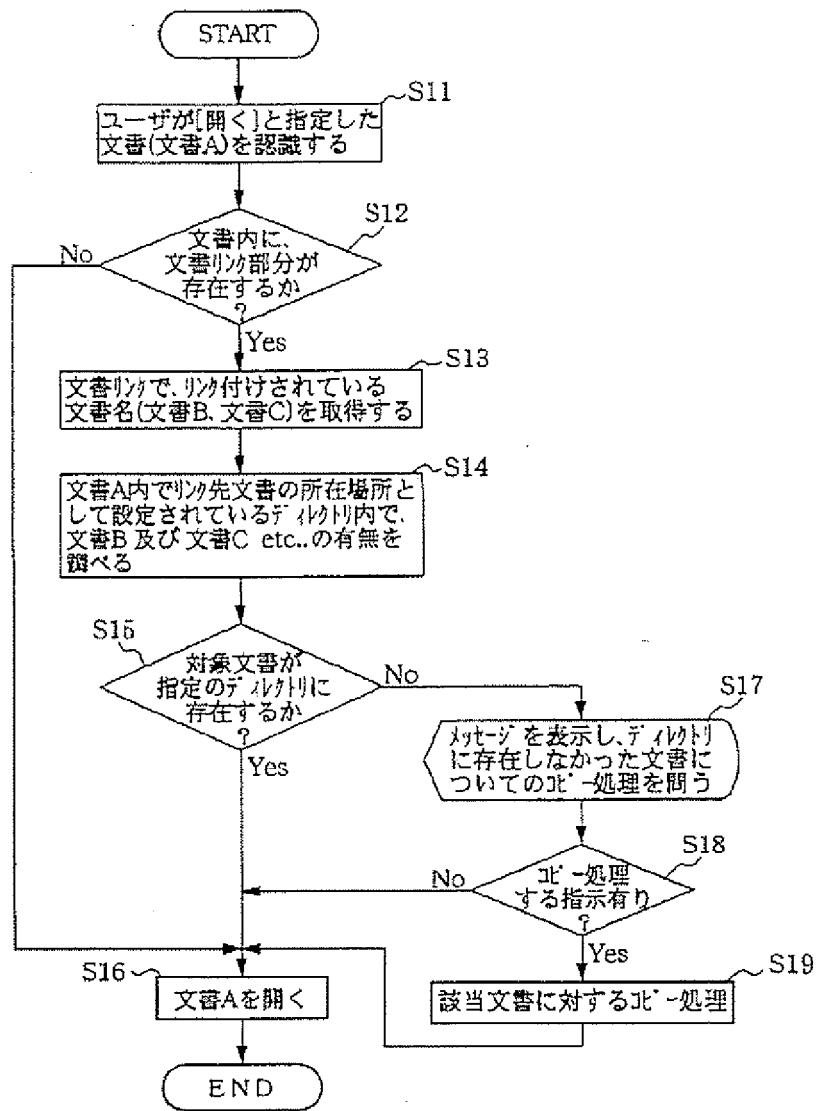
【図2】



【図7】



【図4】



【図6】

